学校番号	T3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	（学）国語演習	単位数	４単位	年次	２年次（通信）
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、１年次の「現代の国語」を土台として、実生活で必要となる文章の読み解きを中心に学びます。また、文章の書き方はもちろん、その基礎となる文法や漢字、対義語や類義語などの語彙についても学びます。
・スクーリング（授業）に毎回必ず出席しましょう。スクーリングの内容を受けてレポートを完成させてください。毎回のスクーリングの復習をし、その時間に何をしたのかをまとめておくことが肝要です。
・教材は、授業担当者が用意します。受講生のみなさんは、筆記用具を必ず持参してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　様々な文章を的確に読み取り、深く味わうための知識や技能を身に付ける。 また文章の種類に応じた適切な読み方や段落の構造に理解を深める。レポート作成に必要となる論理の展開の仕方を学びつつ、文法、表記、語句、語彙、漢字等の知識や技能を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
　多面的多角的な視点から、様々な文章を読み、自分の考えを深める。自分の主張が明確になるように、文章の構成や展開の仕方を吟味し、筋道を立ててまとめることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
　国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする姿勢をはぐくむ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	論理的な文章を読もう(1) ［教材］ 「コインは円形か」 「里山物語」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート ノート レポート
	文章の書き方について学ぼう ［教材］ 自作教材	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	レポート	ワークシート レポート	ワークシート レポート
	論理的な文章を読もう(2) ［教材］ 「語感トレーニング」 「情報の力関係」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 c：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート ノート レポート
	目的や意図に応じた文章を書こう ［教材］ 自作教材	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、経緯や親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて、理解し、使うことができる。 b[書]：目的や意図などに応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。 c：目的や意図などに応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。	定期考査 レポート	ワークシート レポート	ワークシート レポート

	論理的な文章を読もう(3) ［教材］ 「どこもかしこもプラスチック」 「生きることと食べることとの意味」 「何のために「働く」のか」	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート ノート レポート
	［教材］	a: b[　　]: c:			
	［教材］	a: b[　　]: c:			
	［教材］	a: b[　　]: c:			

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　40　）時間

・書くこと　…　（　60　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間